

おおづまち議会だより

OZU

特集

概要と全議員一言抱負 3

尚綱大学生によるレポートと意見交換会

表紙をリニューアルしました 17



つつじと子ども達 (昭和園)

本会議動画配信
はじめました



95

令和3年5月15日
3月定例会

討議 国の責任で「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願

請願の趣旨 「少人数学級」を求める保護者、教育関係者、自治体首長、国民の切実な声の高まりと運動により、国は40年ぶりに小学校を段階的に5年間で35人学級にすることとしている。このことは、子どもたちにとっても、保護者、教育関係者にとっても、待ち望まれた画期的な出来事ですが、35人学級完全実施まで5年間もかかる。そして、①今の2年生以上は対象にならない事、②中学校には適用されない事、③多くの保護者や教職員の声は「30人学級」「20人学級」なのに35人学級であることなど、規模もスピードも不十分である。未だ終息を見通せない新型コロナウイルス感染から子どもたちを守るためにも、学校規模の縮小は喫緊の課題となる。コロナ禍の中で、「20人学級」を展望した少人数学級への前進は、圧倒的多数の保護者・教職員・地域住民の強い願いです。国が責任を持って少人数学級の前進とそのため教職員定数改善を行うことが極めて重要である。

討議 反対 35人学級の効果を検証することが必要
豊瀬 和久議員

- ① 20人学級は、教職員や教室の数が増え、学校施設の改修という根本的問題である点。
- ② 優秀な教員を確保するかが、成否を左右する。処遇改善やICTの活用など、業務削減に向けて検討すべき課題が山積な点。
- ③ 中学校の少人数学級化と、小学校のさらなる少人数学級化は、今回国の定めた35人学級の効果を検証する事が必要な点。

討議 賛成 少人数学級の推進は公益に値し、福祉に寄与する
荒木 俊彦議員

- ① 少人数学級の推進は公益に値し、社会一般の福祉に寄与する点。
- ② 教職員の確保、教室増の為、国が予算確保する為の請願という点。
- ③ 少子化による児童の減少、諸外国の状況を考えれば実現すべきと考える点。

次回定例会は **6月8日(火)開催予定**

(日程は変更になる場合があります)

日程 6月8日(火)~17日(木) (予定)

会場 オークスプラザ 2階 ふれあいホール

議会広報編集特別委員会

議長…桐原 則雄
発行責任者
委員
大村 裕一郎
田代 元智
時松 智弘
豊瀬 和久
副委員長
委員
三宮 美香

編集後記

無投票ではありますが、新たな町議会議員が選出され、議会だより編集委員も新しくなり表紙をリニューアルしました。ご意見、ご感想をお待ちしています。

前任の委員が積み上げてきた実績と議会だよりにかける熱い思いを引き継ぎ、町民の皆さまに楽しみに読んでいただけるよう一歩邁進いたします。

庁舎も新しくなりますので、多くの皆さまの傍聴をお待ちしております。

委員長 三宮 美香

FONT
風やすみ読みやすい
フォントを採用しています。

この議会だよりは
リサイクル紙のため
再生紙を利用しています。

令和3年5月15日 第95号 発行 / 熊本県菊池郡大津町議会
編集 / 議会広報編集特別委員会 印刷 / 創文印刷

〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

↓ 皆さまの声をお寄せください!

切り取ってお出しくさ

郵便はがき



8 6 9 - 1 2 9 0

(受取人)

大津町大字大津1233番地

大津町役場 議会事務局

議会広報編集特別委員会 行

ふりがな
ご氏名

※議事だよりに掲載されている氏名は、イロイロな場合があることにはご留意ください。

ご住所

お電話 () - () - ()

皆さま よろしくお願ひいたします。

※左上の番号は、議席番号になります。

<p>1</p>  <p>若い力で大津町を 元気にしていきます</p> <p>大村 裕一郎 経済建設委員会 矢護川 1352 ☎080-9054-1958</p>	<p>2</p>  <p>情熱と誠意で将来に 責任あるまちづくりを 実現します</p> <p>田代 元気 文教厚生委員会 秋田 1302-79 ☎090-3883-1592</p>	<p>3</p>  <p>自衛隊・県庁24年の実績 安心安全を創造します</p> <p>時松 智弘 総務委員会 美咲野 1-3-15 ☎090-1517-1724</p>	<p>4</p>  <p>町、地域を元気に</p> <p>西川 秀貢 経済建設委員会 引水 593-9 ☎096-340-3685</p>
<p>5</p>  <p>町民の声を大事に、 心が通いあう 安全な町づくりを 目指します</p> <p>大塚 益雄 文教厚生委員会 大津 400-38 ☎090-9726-2002</p>	<p>6</p>  <p>住んでいる人がしあわせ に住みたいと思う町をつくる</p> <p>三宮 美香 文教厚生委員会 広報編集委員会(委員長) 大津 2399-66 ☎080-5209-8950</p>	<p>7</p>  <p>これからも地域の声を 町政に届けて参ります</p> <p>山部 良二 総務委員会 美咲野 3-24-8 ☎096-202-4734</p>	<p>8</p>  <p>地域町民の問題に耳を傾け 一歩一歩 前進出来る政治を 目指します</p> <p>山本 富二夫 文教厚生委員会 外敷 400 ☎090-2715-2818</p>
<p>9</p>  <p>小さな声を聴く力を 発揮して動きます</p> <p>豊瀬 和久 文教厚生委員会(委員長) 杉水 3305-24 ☎090-7462-2676</p>	<p>10</p>  <p>誰も置き去りにしない 地域社会を</p> <p>佐藤 真二 監査委員・総務委員会 大津 2617-6 ☎090-4582-4491</p>	<p>11</p>  <p>「郷土愛」 地域力を拓く</p> <p>大塚 龍一郎 総務委員会 陣内 1165 ☎096-293-2641</p>	<p>12</p>  <p>大津町の発展と 住民の皆様の福祉に 頑張ります</p> <p>坂本 典光 副議長・経済建設委員会 大津 1495 ☎096-293-2091</p>
<p>13</p>  <p>結果を出すための 議論を旨とする</p> <p>永田 和彦 経済建設委員会(委員長) 大津 1208-7 ☎090-8299-5117</p>	<p>14</p>  <p>住民の皆さまが主体となる 町づくりに努めます</p> <p>津田 桂伸 議会運営委員会(委員長) 経済建設委員会 杉水 3097-2 ☎096-293-5860</p>	<p>15</p>  <p>暮らしを守り、 福祉の充実こそ政治の仕事</p> <p>荒木 俊彦 総務委員会(委員長) 大津 2399-85 ☎090-3605-1529</p>	<p>16</p>  <p>「地域ひところろ」が輝く、 夢と希望にあふれる まちづくり</p> <p>桐原 則雄 議長 陣内 412 ☎096-293-5642</p>

総務委員会



文教厚生委員会



経済建設委員会



議長に桐原則雄 議員を選出

3月1日臨時議会(初議会)を開き、議長に桐原則雄議員、副議長に坂本典光議員を選出しました。



ご挨拶

「町民の皆様へ寄り添い、議会一丸となって町づくりを進める」

伝統と格式ある大津町議会の議長就任にあたり身の引き締まる思いでございます。町民の皆様へ寄り添い、対話を大切に、夢と希望にあふれ元気で魅力あるまちづくりの実現に向けて、情熱と行動力、議会一丸となって、全力で取り組みますので、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

議会の役割である政策の意思決定と行政の監視機能を十分に果たすとともに、まちづくり情報の共有化や発信を強化し、様々な政策立案、提言を行うなど、議会改革や議会力の充実及び透明性を高め、町民の皆さんの応援団として、努力してまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

令和3年3月1日午前10時より議会構成を行うための臨時議会を開催しました。

議長 副議長
桐原 則雄議員 14票
永田 和彦議員 1票
荒木 俊彦議員 1票

選挙を行うにあたり、立候補者の所信表明を行い、全議員の投票により議長、副議長を選出しました。

議長選挙の結果
副議長選挙は実施せず、議長の指名推選で、坂本典光議員に決定しました。

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚龍 一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本富 二夫	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀真	時松 智弘	田代 元氣	大村裕 一郎	賛成 ○	反対 ●
国民健康保険特別会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
介護保険特別会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
後期高齢者医療特別会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
国の責任で「20人学級」を展望した 少人数学級の前進を求める請願	-	○	●	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	●	●	5	10

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は賛成 ●は反対 葉は棄権 欠は欠席 早は早退

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

議員の視点

(発言の一部を抜粋して掲載しています)

時松 智弘議員
介護保険策定委員会が新型コロナの影響で書面配布の形で開催され費用弁償が減額されているが、同等の内容として適正に支給できないか。
答 県の緊急事態宣言が出されたので一堂に会することが難しく書面開催として行い、費用弁償を減額した。今後は条例等の改正も含め、適切に支給していきたい。

山部 良二議員
新型コロナの影響で訪問や通所型サービス等が中止されているが、感染予防や認知症、身体機能の低下が心配される。このような状況にどのような対策をとるのか。
答 非常に危惧しており、電話や訪問をして健康状態の確認を行っている。今後も引き続き介護予防等の対策を行っていく。

佐藤 真二議員
グループホームの業務の効率化で安全対策をとっていることを要件に人員基準の緩和ができることになっているが、町は要件を満たしているかどうかの確認をするのか。
答 町内に対象となる可能性のある施設が1箇所ある。事業者からの届け出を受けた場合、町が確認を行うことになっている。

山本 富二夫議員
学校トイレの洋式化工事の予算が上がっているが、現在洋式化できている進捗率はどうか。
答 52%程度の進捗率で少し遅れているので進捗率を上げていきたいと思う。

新しい大津町に向けて

一般会計予算141億1430万円
2021年度予算が成立しました

(詳しくは、広報おつづの2、3ページをご覧ください)

3月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で3月8日から22日までの15日間の会期で開きました。

町長提案の一般会計をはじめ9議案を初日に全員賛成で可決し、最終日に条例の改正など24議案を審議し可決しました。

請願は否決となり、一般質問には9人が登壇しました。(請願の趣旨と討論は最終ページに掲載しています。)



一般会計の主な事業

高齢者福祉を充実 新規事業

- 高齢者保健事業と介護予防の一体化 450万円
- 高齢者外出支援事業 500万円

地域づくりを推進

- 地域創生事業 840万円
- ワンピース・ゾロ除幕式 300万円
- 地域づくり活動支援補助金 400万円
- 地区担当職員時間外手当 190万円

障害者福祉を充実

- 障害福祉サービス事業 (16項目) 6億7810万円
- 障害児支援事業 (5項目) 3億5260万円

環境を守る

- 道路維持 1億1300万円
- 公園管理 8200万円

子育て支援を充実

- 児童福祉 2億380万円
- 保育園・幼稚園など 18億5770万円
- 学童保育運営及び施設設備 2億5780万円

町長選挙後、初の予算となるため最低限必要な経費を盛り込んだもの。サービスをもっと向上させるための新たな経費などは、新町長の方針に基づき6月の補正予算で計上されます。

新庁舎と組織の改編

Q 新設された防災交通課の目的とその役割は。

A 新庁舎を防災拠点として位置付け、防災システムの導入を行い、地域と連携をとり、更に自衛隊、消防、警察と組み細やかな対応ができる体制を構築したい。

防災力の向上を



完成間近の新庁舎

男女共同参画推進の施策は



Q 女性の社会進出が強く求められている。

A 子育て世代の就労支援や働く環境の整備にどのような施策を考えているのか。

A 学校教育の場、家庭環境への啓発を積極的に行っていく事で理解の促進や育児介護に男性が参画する事など、固定観念を払拭していかなければならない。
今後は住民のニーズを把握して効果的な啓発活動を進めていきたい。

新庁舎完成に向け

総務委員会レポート



瀬田神社 (震災ミュージアム)

震災ミュージアム

Q 地方創生推進交付金事業の震災ミュージアムについて、どのように進めていくのか。

A 県の回廊型震災ミュージアム構想の中で、大津町の魅力や特色を発信し集客へと繋げていきたい。

具体的には世界かんがい施設遺産の上井手・下井手を水環境学習の場とする事、江藤家住宅を含めた南部サイクリングコースの設定等、魅力あるコース造りのアイデアを検討していく。

防災行政無線の活用と利便性向上は

Q 防災行政無線が聞き取れないとの意見があるが対策は。

A 昨今の住宅は高气密性の住宅も多く、聞き取れない場合がある。

個別受信機を配布している他、町外に居る場合等でも情報を得られる様、「からいもくん便り」登録も推進している。また、新庁舎建設に伴い電話での防災無線の聞き直しやSNS・ホームページへの自動配信等のシステムを導入する。



防災行政無線

街灯LED化の推進は

Q 街灯のLED化を進めていく方針だと思うが、いつまでに完了するのか。

A 一度に更新していきたいが、6〜7千万円程度の費用がかかる。

限られた財源の中で有利な交付金等の財源確保も含めて検討を行っていききたい。



LED化された街灯

地域公共交通会議

Q 地域公共交通会議では、免許返納者や高台に住む高齢者など不便を感じている人たちの意見が反映されていないように思われるが。

A 住民の代表として区長会や福祉団体の代表者に参画いただき意見を頂いている。委員構成については随時検討を進めていきたい。

意見 高齢者の意見をきく方法として地区担当職員制度の活用はどうか。



東合いタクシーの適応外地域

町の賑わい創出を

Q 地域おこし協力隊の活動についてどのような状況か。

A 現在2年目を迎え、やりたい事がはつきりしてきた状況で、それぞれの能力に見合った業務に取り組んでいる。

一人は、ユーチューブでの情報発信や、ハロウィンイベント等を企画し、もう一人も森林公園で木工教室などを行い、町の賑わい創出ができないか模索している。



地域おこし協力隊の活動の様子

意見 行政の発想ではできない柔軟な地域おこし策を行うために、国の交付金が使われている。評価の仕方や効果の検証などしっかりと考えていただきたい。



有害鳥獣対策

Q 有害鳥獣捕獲補助金について、猪より鹿の方が1000円捕獲補助金が多いと聞いたがなぜか。また、アナグマ、ハクビシンによる農作物被害はどのように対応しているのか。

A 鹿は、町の補助金とは別途、県から1頭あたり1000円補助金が出ている。

アナグマ等に関しては、鳥獣被害防止計画に基づき目撃情報があった場合は罠による捕獲を行っている。



捕獲された有害鳥獣

意見 捕獲補助金は、実績の増加により、補助額を上げてきているが、捕獲に係る経費の算出を行い、補助金の精査をして頂きたい。

コロナ禍でも

町の賑わい創出を

経済建設委員会レポート



大津町商工会館

A 事前に要望を聴取して計上したが、再度、商工会と連携を取りながら、有効に活用できる様に検討していきたい。

商工会を応援

Q コロナ禍で飲食店をはじめ、商工会会員も大変苦労しながら頑張っている状況である。

その中で商工会が窓口となり、かなりの相談を受け、行政ではできない所をカバーしている。

この厳しい状況を乗り越えるには現場の声をくみ上げ、しっかり行動するための経費が必要であり、助成のあり方を考えるべきではないか。

一戸建て木造住宅の耐震化を支援

Q 戸建木造住宅耐震化支援とは、具体的にはどのようなことか。

A 耐震性がない可能性がある住宅の耐震化を進める所有者に補助を行うものである。

昭和56年5月31日以前の古い耐震基準で建てられた住宅と熊本地震により被害を受けた住宅を対象に啓発を行っている。



耐震化している建物



シルバー人材センターの状況は

Q 高齢者の働く意欲や人に役立つたいとの思いから登録者数が増えており、需要と供給のバランスが崩れていないか。

A 年々登録者が増えており、ワンコインサービスなどの利用を増やそうと考えている。

意見 働くことで健康や生きがいに繋がっていく。多方面で経験をされた方も多いので様々な業務を委託できるように検討してほしい。

タブレット端末はじまる



活躍するシルバー会員

運動公園利用拡大は

Q 火曜日も開放することで安全面の確保やナイター利用は問題ないか。また、利用拡大に向けて大会などの誘致を進めるべきではないか。

A 昼間は職員が管理し、夜間はシルバー人材センターに、管理委託を行う予定で、問題なく利用可能である。

また、スポーツコミッションや民間と連携し、九州・全国規模の大会などの誘致を考えている。



大津町運動公園

GIGAスクール

Q 児童生徒に一人一台のタブレット端末を貸出し持ち帰り学習をする際、インターネット環境が整っていない家庭への対応は。

ルーター等の貸し出しをどう行うのか。

A 県の指針などを参考にしながら貸し出す世帯や方法を決めていく。

Q ある程度の規制は必要だが、常時持ち帰り自由に利用できる環境を整えるべきではないか。

A まず、子どもたちや教職員が不自由なく使えるようになり、効果的な体制と安心して学習できる環境が整ってから持ち帰りを開始したい。

意見 できるだけ早期に、制約なく自由に使える環境整備を実現してほしい。

ひとり一台の (情報通信技術) ICT教育

文教厚生 委員会 レポート



インターネットを活用した授業風景

歴史文化伝承館

Q 土日の利用が多いにもかかわらず日曜日に説明できる職員がいらないのはもったいない。また、対応の部分でも良い印象がない。

A 今後は職員が現場に向かい指導していく。

意見 上井手や下井手などをはじめとする、町の文化を紹介していく拠点として整備された。町内・外のお客様のためにも職員配置も含め、施設の有効活用を検討してほしい。



大津町歴史文化伝承館

Q 地震で傷んだ校舎の建て替えを

A 安心安全な校舎の施設整備をしていきたい



山本 富二夫議員



南小学校の老朽化した外壁

Q 震度6の熊本地震で被害を受けた校舎で授業をし、校舎自体も築40年を過ぎた校舎が5校ある。築50年の東小中学校、築43年の大津南小学校、築41年の大津北小学校で建て替えを考える時期にきている。地震での被害がある大津中学校も築38年である。今回示された大津町戸別施設計画案では、施設の調査結果で、大津中、南小、東小はラックである。健全率は40%と記載されている。今後、建て替えを見据える中、校区の見直しも同時にすべきであると考え

A 子どもたちに少しでも安心・安全な、そして快適な施設で学校生活を送ってもらいたい。学校建設や大規模改修には要する費用も多だ。綿密な検討・計画を前提に進める必要がある。(町長)

A 大津中学校や大津南小学校は、内装、外装、設備の劣化が著しく、町長からも説明がありました。今回、今回の個別施設計画において、整備計画の頭出しをし、整備を進めていきたい。(教育長)

その他の質問

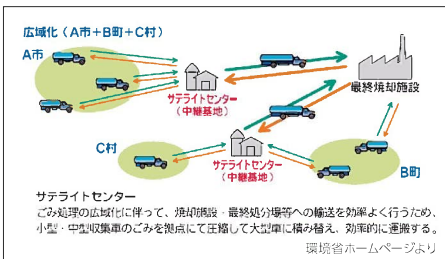
- ・工業団地の新規の造成と企業の誘致の現状は
- ・大津町の成人式開催について

Q ゴミ収集中継施設設置(サテライトセンター)の導入を

A 今後十分な調査や研究が必要と考える



山部 良二議員



サテライトセンターのイメージ

Q 新しく菊池環境工場クリーンの森合志が運営を開始した。しかし問題点もあり、ゴミの処理の広域化に伴い、交通渋滞の発生やゴミ収集の非効率化が予測される。また町民による持込ゴミに対するサービスの低下などが懸念される。これは一過性ではなく数10年と続く問題でもあり、効率的なゴミ収集輸送と、さらなる広域化に対応した対策が必要と考える。

A クリーンの森合志の稼働に伴い、収集した可燃性のゴミの運搬距離が片道で約3キロほど延伸している。現状では、収集したゴミを新環境工場に直接運搬しており、収集から搬入までのあり方については今後、調査・研究が必要だと考えている。(町長)

その他の質問

- ・子育て支援・教育環境日本一のまちづくり(子ども医療費18歳無償化等)について
- ・コロナ禍の貧困対策(フードバンク等)について

一般質問

町政を問う 3月定例会

改選後初の一般質問に16名中9名が登壇



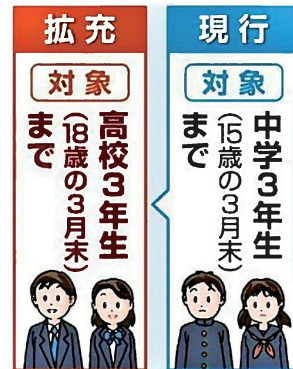
町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。一般質問の記事につきましては、会議録の基づき作成したものを掲載しています。

Q こども医療費無償化の対象年齢拡大を

A 事務手続きなどの準備をして、10月を目途に実施したい



豊瀬 和久議員



その他の質問

- ・外国人への多言語化した行政情報の提供
- ・災害ボランティアへのサポート体制の構築
- ・GIGAスクール構想の成功へ、宝の持ち腐れを防ぐ取り組み

Q コロナ禍の今こそ、こども医療費無償化の対象年齢を拡大して、収入が減少するなど経済的理由で医療を受けたくても受けられないご家庭が安心して病院に行く受診できるようにすべきだ。人間が生きて行く上で不可欠な基本的サービスを無償化することにより、弱者を助ける制度から、弱者を生まない社会へと福祉の裾野を大きく広げるこれからの社会にとって重要な取り組みだ。

A こども医療費無償化の対象年齢を拡大することにより、コロナ禍で多くの方が収入減少となっている中、子育て家庭の経済的な負担を軽減し、こどもたちの命と健康を守ることでできると考えている。

6月定例会に予算を提案させていただき、可決されたら、速やかに進めたいと考えている。

その後、医師会や医療機関との協議、システム改修などの事務手続きや、保護者への周知、受給者証の配布などの一定の準備が必要となるので、秋、10月を目途に実施したい。(町長)

Q 中九州横断道を核とした町の発展へ布石を

A 防災強化・にぎわい創出に協働していく



時松 智弘議員



国道57号北側復旧ルート入口(大津C)

その他の質問

- ・施政方針で示された民間登用、防災防犯対策について
- ・投票率低下、政治不信の払拭について

Q コロナ禍の中に於いても地域の創生に向け、布石を打っておかなければならない。

A 県が計画している大津都市計画区域マスタープランと今後進む中九州横断道路の整備と相まって大津町も、自ら策定した都市計画マスタープランを深化させ、懸案となっていた南北縦断のアクセスや防災をしっかり強化していくことが大事だ。

町内道路整備や、将来国道57号北側復旧ルートとつながる中九州横断道とスポーツの森周辺へのアクセス、肥後大津駅前を中心とする賑わいの創出、安心・安全の推進をどう考えるか。

A 国道57号北側復旧ルートの大津ICから南部防災の拠点であるスポーツの森大津の道路、その他町内道路整備により、都市防災機能の一層の強化につなげていきたい。肥後大津駅前を中心とするさらなる賑わい中心と活気ある環境を整備し、観光客が少しでも町内で買物や飲食をしたださる等、人と経済の流れをつくる必要がある。

情報発信や町内事業者間の連携の促進などの多様なアプローチの方法を町民や事業者、関連諸団体としっかり議論し、協働していきたい。(町長)

Q 民間のスポーツクラブとも連携を

A 高いレベルの指導を受けられるのは素晴らしい。各団体の現状を把握していきたい



田代 元気議員



元プロ選手が指導するサッカークラブ

Q 小学校部活動の社会体育移行後2年間の成果と課題は。それを踏まえ、令和3年度の活動はどう行っていくのか。

A 民間のスポーツクラブとも連携し関わっていくことも必要である。

A 平成31年度より学童スポーツクラブとしてスタートしており、本年度は昨年度より参加人数も増加し他の自治体の模範となるものと高く評価を得ている。

今後もこの経験を活かし児童の健全育成を主

目的とし活動している。また参加児童の増加も見込まれる為、運営体制の強化、スタッフの確保にも取り組む。

(教育長)

A コロナウイルスの影響で6月後半からの活動となったが、200回近く活動が出来た。

今後はスポーツ環境を整え、季節に応じた活動を展開し支援が必要な子どもたちも参加できるように取り組む。また長期休暇中の活動などの要望にも応えていく。

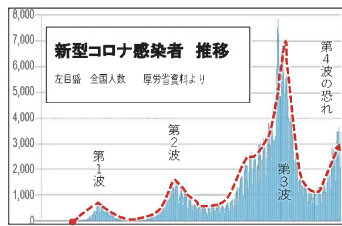
(教育部長)

Q コロナ予防策 台風など災害対策は待たなし

A ワクチン接種に期待 危険箇所の解消対策を急ぐ



荒木 俊彦議員



近年の台風の大型化で強風による屋根の損壊が多くなり、国の制度もできて、自治体で屋根の補強工事の補助が広がっています。

その他の質問

- ・コロナ禍のもと、生活困窮者への支援を急げ
- ・熊本地震の後始末 ミルクロードの整備は国県の責任

Q コロナ対策に全力。〇命を守る徹底した災害対策を掲げられている。

①第4波が心配されるコロナ感染予防で、高齢者施設など職員への無料PCR検査が必要ではないか。

②今から始めないと間に合わない、災害対策。河川の土砂掘削撤去。熊本地震での被災・倒壊危険家屋などへ、町の対策支援が必要ではないか。

A PCR検査が町が検査費用の補助を行うことは考えておらず、行政検査の実施主体である県の

動向次第である。ワクチン接種は、体制が整いつつ、当該施設における高齢者及び施設従事者へのワクチン接種は優先的に開始したい。

水害対策・白川をはじめ、町内河川の計画的な堆積土砂の掘削を引き続き、国・県へしっかりと要望を行っていく。

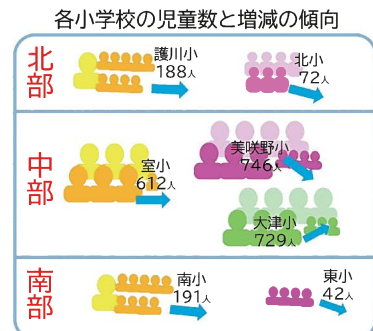
台風対策・住宅地内にあり隣接地に危険が発生しそうな建物や、防犯上対応が必要なものの調査を徹底し、すでに顕在化している危険箇所には、個別に協議して、解消できる対策を急ぐ。(町長)

Q 施設改修と校区、どう進めるか

A 校区の見直し等方針を整理する



佐藤 真二議員



Q 公共施設の個別施設計画が示された。残念な内容だ。

大津中・南小の改修・建替えはすぐにでも取り組む必要があるが、南小は5年後の着手となっている。問題は施設の在り方に関する検討がなされていないこと。そうした事情や検討スケジュールを併記しなければ計画としておかしい。

また改修の優先順位は、建物の「健全度」を基準とするとしているがそうならない。東小・北小も優先されるべきではないか。

A 施設のあり方を検討すべきところは、内容をきちんと計画とあわせて出していきたい。

今後、住民や保護者の意見を聞きながら校区の見直し等の方針が整理でき次第、次期計画に反映させたい。(町長)

A 南小においても、大津中の改修コストの状況を見ながら、町長部局とも連携を図り、早期に着手できるよう調整を進めていきたい。

東小と北小については、抜本的な改修の必要性は低いと考えている。両校とも児童数が減少する予測。今後の校区を含めた両校のあり方について、保護者や地域の皆様の意見を聞いていく予定。(教育長)



三宮 美香議員

Q 小・中学生の重い荷物への改善策は

A 移動式のロッカーなどを検討



破れたカバン

Q 2018年に文科省から「荷物についての配慮」の通達が出ているが未だに荷物が重いという声を聞く。今回、町内の児童生徒にアンケートをとり実態調査をした。

中学生で荷物の重さの平均が10キロであり、荷物が重くてカバンが壊れたり肩や背中が痛いという回答があった。小学生もランドセルが大きく重くなったうえに両手もふさがるといふ回答があった。児童生徒の声を真摯に受け止め早急に改善すべきではないか。

A 現在の紙媒体の教科書に対し、デジタル教科書が全面的に普及した場合、携行品の重さや量は大幅に軽減されると予想される。デジタル教科書が普及するまでの間は、教科書と教育用パソコンのいずれも持ち帰ることが考えられるため、児童生徒の負担が増えないよう、より「層」の取り組みが必要になると考える。

今後は学校の状況を聴取しながら、移動式のロッカーなどの検討をしていきたい。(教育長)

その他の質問
・小中学生の校則について

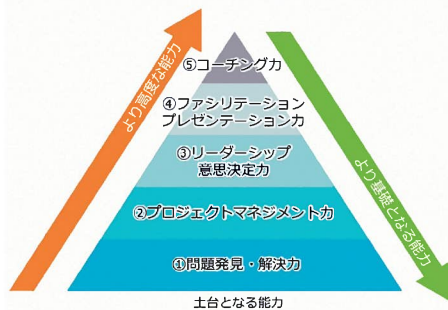


永田 和彦議員

Q 施政方針について

A 民間での経験をいかしたマネジメントをしていく

マネジメントに必要な5つの能力



Q 組織改革を行うならば、今までの行政組織が持つ力の総計を80と仮定し、改革後は行政運営が効率化し、総計100の力を以前の経費のまま発揮できてくるように成り立たせなければならぬ。

これがマネジメントの妙であり新しい町長に期待するところである。それを町民が感じないのならば役場仕事の便宜上だけである。

A 組織改革の中で重要なのは、その機構だけではなく中身をどうにマネジメントをどのようかというところが最も重要であり、その組織の風土・風習、あるいは文化を変えていくということも必要だと思っっている。その中で、活性化、ダイバーシティというのも進めていきたいと思っている。

そこに私の民間で経験したスキル、デジタルあるいはマーケティングだとか、専門性など今役場に入るところを入れることによって活性化を図りたい。(町長)

若者の視点

尚絅大学生によるレポート 23

大津町議員との意見交換会を終えて

若者の政治への関心の薄さという状況の深刻さを感じた

1年 早田 静花

議員1人ひとりのお話はとても面白く感じました。三宮議員は、議会で大一人の女性議員で、議会を傍聴した際に、男性ばかりの議会で、女性がいなかったことに疑問を持ち、議員になったそうです。時松議員は、まだ新人で元々は陸上自衛官でした。その後県庁へ入庁し、また議員になったそうです。大村さんが議員活動をしなから、実家の農家を手伝っているそうで、議員には兼業が許されており、議員活動が可能な会社もあるということも知りました。

話し合いの中で、時松議員は私たち生徒に議会に興味をもち、議員になりたいと思ったかと質問されましたが、私は政治に関心が薄いのと、大変そうだからという理由で、なりたいたとは思いませんでした。しかし、それが議員のなり手不足や、無投票当選に繋がっていると分かった時は、自分も含めた若者の政治への関心の薄さという状況の深刻さを感じました。少しでも政治に興味をもてるように、今後議会傍聴してみても、私たちの生活に深く関わっている議会を身をもって体験したいと思えます。



さる4月22日(木)に、尚絅大学九品寺キャンパスの新校舎にて大津町議会の広報委員4名と尚絅大学現代文化学部1年生の学生25名とで意見交換会を行いました。学生による生の感想をご紹介します。

自分の意見をもって政治に参加

1年 坂本 実菜

議員のみなさんのお話を聞いて、住民に寄り添う熱い思いや住民の意見を大切にしていることを知り、私も自分の意見を伝えてみたいと思いました。しかし私は今まで政治にそこまで関心をもっていなかったのも何も知らないし意見も持っていません。そのために自分の町の広報を読んだり、議会を傍聴したり情報を集めることから始めるべきだと感じました。私は今18歳で1度投票したことがあります。その時は私なりに出馬されていた方の経歴や政策の方向性を調べたつもりでしたが、今回直接議員の方の話を聞いて足りていなかったと感じました。それは、その人が一番大切にしたいことや熱い思いは、直接話を聞くことで一番感じることができると分かったためです。自分の意見をもって政治に参加できる社会人になりたいと思いました。



議会を観ての生の声

3月定例会の傍聴者数のべ31人、動画再生回数558回(5/6 時点) ※動画は表紙のQRコードからご覧いただけます

若返った町長・議会に注目

友人の誘いを受けて初めて町議会の傍聴にお邪魔しました。
今回は新人議員による一般質問を傍聴し、大津町の課題やこれからの新町長の取り組みについて実りある活発な議論がされていた印象を受けました。
ただ、一部の議員の聞く姿勢が悪かった事が残念でした。仮議場ということと少ない傍聴席でしたが満席で他の傍聴者の方も同じ気持ちだったのではないのでしょうか。
今後は、新しい町長と経験豊富な議員さん、新しい議員さんとがスクラムを組み「世界で一番住みたい・住み続けたいまち」づくりを目指して活発な議論が行われる議会であり続けることを期待しています。
次回以降も時間の許す限り傍聴に伺いたいです。



みさやま きぬよ
右山 絹代さん
杉水

○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

Lined area for writing suggestions and questions.

○今回の議会がよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイディア」があればお寄せください。

希望のもてる 明るい大津町へ

これまで、役場に備え付けてあるモニターで議会傍聴をしてきました。
今回どうしても傍聴席に座りたかったのは、新町長体制の役場執行部、又、新人議員を多く含む十六名の生の声を聞く為でした。
私が望む事は、将来を見据えた希望のもてる明るい大津町です。また、町民各位におかれましても、是非とも議会傍聴を体験されますようお願いいたします。



おおむら まさく
大村 築さん
矢護川

追跡 どうなった？ 一般質問の行方

このコーナーでは、過去の一般質問で議員がおこなった町への提案が、実際にどのように町政に反映されているかを追跡調査してお知らせします。

2020年9月定例会

質問

『安心して出産・子育てができるまち』を

特別定額給付金の基準日である4月27日よりも後に生まれた赤ちゃんにも特別定額給付金を支給するべきではないか？

答弁

出産・子育ての支援として、担当部局とも連携しながら新生児の特別祝い金の事業推進に向けてしっかりと取り組んで参りたい。

2020年9月定例会

質問

公衆衛生を高め住み良い町に

ハードの整備に公共手洗場兼噴水や休憩所を設置し街並みや衛生効果を高められる町とし、総合的な公衆衛生へとつなげ、その予防効果は住みやすさとなり経済効果へ続くものと考えられる。

答弁

新庁舎西側のトイレ整備とあわせて、公共手洗い場の検討を行っていきたい。

あれから・・・こうなっています

町独自の産育育児特別給付金の支給へ

町独自の『産育育児特別給付金』として、令和3年1月上旬に対象者へ通知発送を行いました。

4月時点で支給対象者の100%にあたる583人に支給手続きが完了しております。

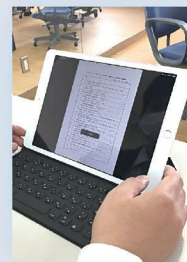


感染症対策として、非接触を考へて

昭和園トイレの手洗い場は、タッチレス(自動)水栓を設置しました。

清正公道公園トイレの手洗い場は、寒冷地仕様のためタッチレス水栓にできませんでしたが、プッシュ式水栓(自動止水)を設置しています。

新庁舎の開庁に向けた西側トイレの改修を予定していますので、併せて公共手洗い場の設置を含めた設計を実施中です。



議会ではICT(情報通信技術)の向上施策としてiPadを導入しました。

導入の狙いとしては

- 1.住民との接点
- 2.議会活動の円滑化
- 3.議会運営の充実
- 4.議会事務の効率化

議会では今後、操作研修を重ねるとともに、技術の向上やアプリの導入を進め、ペーパーレス化や高度ICT環境の構築を推進します。

議長挨拶

議員紹介

定例会レポート

委員会レポート

一般質問

大学生レポート

追跡レポート

住民の声